

♡ おじゃました ♡



「いな若者サポートステーション」が伊那市山寺区にオープンしました。ステーションは、15歳～39歳までの就職や自立をめざしている若者支援をしてくれます。就労にブランクのある方、就労が長続きしないなどの悩みがある若者への相談やキャリア・メンタル、個に合うプログラムも組んでくれ就活へつなげてくれるとのことでした。就職後も、就職の定着支援やステップアップ相談にも応じてくださるそうです。「こういう若者を受け入れてくる企業さんの開拓がこれから・・・」ということでした。この年代の若者は大事な人材！自己肯定感をもって働ける支援ができればいいですね。

IHI回転機械・辰野本社に行ってきました。IHIは産業や社会を支えるさまざまなプラント、機械、設備から身近な暮らしで役立つ設備まで多彩な製品を提供しており、その製品群は、地球から宇宙にまで活動の場を広げつつあります。総務部長の小澤俊郎さんは、「多岐に渡る仕事は、辰野町からの発信されていることがたくさんある。会社の繁栄のベースになるのは、「技術力・技能」であり、個の技術力・技能の向上は、働く人個人のプライドにもつながる。一つの技能に留まらず複数の技能ある人を育ていくのも企業サポートの一つ。その中で自分のつくる製品が社会のどこで役立っているのかを問ってもらい自己効用感を高め、個人目標の設定が会社の実績につながる。個の技術力・技能こそ会社の強みです。」とお話をいただきました。大人の工場見学は大変勉強になり、地域の子どもたちにも伝えたい、見学してほしいと思いました。社会科の学習で、地元企業の見学をお勧めします。（小中高校生の工業見学可）



連絡先: 上伊那広域連合 傳田智子 tel 78-2500

キャリアフェス in 春富
を行っています
平成29年7月4日
時間帯13:20~16:20
世界に魅せるinaの他喜力

7月4日(火)に伊那市キャリア教育推進委員会主催「**キャリアフェス in 春富中(長谷中2年生も参加)**」がありました。『世界に魅せるInaの他喜力』というサブテーマのもと、25のビジネスブースと17のヒューマンブースには、この日の為に準備された中学生向けのビジネス・地域の特色・伝統芸能などが用意され、双方で熱い話し合いがなされました。「上伊那はアリストメリアの生産No.1なんだ！知らなかった！」「弁護士の仕事を始めたのはどうしてですか？」生徒から出るつぶやきや質問を聞きながら、中学生が真剣に自分の将来を考えていることを感じました。

地元のマツタケや五平餅、和菓子作り体験などのおもてなしもあつたかったです。

地元の老松場の説明や新山のハッチョウトンボ、獅子舞、長谷の中尾歌舞伎も、地域の良さが伝わるブースでした。



7月20日(木) **東部中学校3年生を対象とするキャリア教育**学習があり、30を超える大人の方々が、自分の人生を『人生図』に表現し、個の足跡を生徒に伝える中で、『自己の生き方を問う』学習がなされました。菓匠shimizuで店頭立つ青木こはるさん(19歳)のお話がありました。

『私は小学生の時、shimizuの社長さんのお話を聞いて、自分もshimizuに入りたいと思った。高校を決める時、ケーキ屋さんでは果物を扱うから果物のことを学びたいと上農に進学。大学進学を悩んだとき、職場体験に行ったshimizuさんの『菓子作りの知識は進学しなくても学べる。うちで見て聞いて学べばいい！』の一言でshimizuに就職。shimizuにはいろいろなお客様がきてくれ、中には、クレームと言える内容のご指摘もいただく。このクレームも、自分でない人からみればこう見えることもあるんだと思い、クレームも自分を成長させてくれるありがたい言葉。私にきたクレームはshimizuが言われたのと同じ。気を付けなくては！・・・』と。力まず、真つすぐに自分の仕事を受け止め生きていく姿に、生徒も私も魅せられました。

郷土愛通信も第3号めとなりました。郷土愛PJの主催事業も含め、さまざまな取り組みが行われる中で、産業界と学校とのつながりがより強くなってきていることを感じます。また開催地や開催校に、市町村教委の方々も見学に来て下さり、自市町村での開催につながっています。

広がれキャリア教育の輪！深まれ産官学の絆！